

5月2日(土)開催

# 生涯学習センターまつり

## 生涯学習だより

問 生涯学習推進課 生涯学習係  
☎ (83) 7021

今年も恒例の「生涯学習センターまつり」を実施しました。多くの方にご参加いただき、大盛況でした！たくさんの「わくわく」や「ドキドキ」や「喜び」や「つながり」に結びついたら幸いです。

ご参加いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



＜青空広場＞  
フリーマーケット



＜青空広場＞  
ミニこいのぼりづくり



＜寺子屋まつだ＞  
わなげ など



＜国際交流ブース＞  
中国の切り絵体験など



＜展示ホール＞  
シール交換会



＜展示ホール＞  
鉄道模型の展示



＜展示ホール＞  
日本舞踊体験



＜第2学習室＞  
ハンドエステ体験

### 松田 文化財探訪

### My 二宮尊徳翁小伝 その12

文化財保護委員 草門 隆

筆者が惹かれた「報徳論」

本連載「その4と7」において筆者は「翁関連本の中で最重要著書として詳細は後述」と記し、今回に至りました。『二宮尊徳全集』編者の佐々井信太郎の解題(著書の内容・由緒)によりますと翁の筆頭高弟の富田高慶が嘉永3(1850)年に完成させ、翁の允許(認め許し)を受けている唯一の著書で翁の著述としても差し支えないとあります。その記載内容は該連載「12の重要キーワード」に多数引用しており、紙面の関係から割愛させていただきます。

この著書を史学者達は「報徳仕法の奥義」「治者の倫理」「政道論(国の治め方)」などと言います。翁は村民がやる気になり働くためには、政治を行う者が「治国の心得・術」を持つことを訴えています。江戸時代「百姓は絞れば絞

この『報徳論』の「天道人道」の中の一文に、お上に付度したかのような指摘を「一官吏(役人)から受けたという、いわくつきの著書ゆえに明治29(1896)年6月発行部数少なく絶版された超貴重なものを、やや高価ながら親切で博学な古書店主からゲットできたことは、この学びに熱意をもって取り組んだ褒美と勝手に考え、想い入れの強い著書・お宝になりました。



『報徳論』(私蔵)  
(全99ページの和装本)